

平成24年6月21日
於
府中市立教育センター

平成24年第6回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成24年第6回府中市教育委員会定例会会議録

- 1 開 会 平成24年6月21日(木)
午後1時30分
閉 会 平成24年6月21日(木)
午後3時19分
- 2 会議録署名員
委 員 齋 藤 裕 吉
委 員 糸 満 純一郎
- 3 出席委員
委員長 久 芳 美恵子 委員長職務代理者 崎 山 弘
委 員 齋 藤 裕 吉 教 育 長 糸 満 純一郎
- 4 欠席委員
委 員 北 島 章 雄
- 5 出席説明員
教育部長 吉 野 寿 一 文化スポーツ部長 後 藤 廣 史
教育部副参事兼指導室長 文化スポーツ部次長兼生涯学習スポーツ課長
小 椋 孝 町 田 昌 敬
総務課長 澁 谷 智 文化振興課長 酒 井 利 彦
総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹 文化振興課長補佐 時 田 浩 一
月 岡 敏 浩 江 口 桂
学務保健課長 中 村 孝 一 ふるさと文化財課長補佐 谷 本 耕 一
学務保健課長補佐 市 川 直 次 生涯学習スポーツ課長補佐 古 田 実
給食担当副主幹 須 恵 正 之 生涯学習推進担当副主幹 茂 木 孝 之
指導室長補佐 桑 田 浩 国体推進室長 山 下 隆 久
指導主事 国 富 尊 図書館長 佐々木 政 彦
指導主事 大 津 嘉 則 図書館長補佐 坪 井 茂 美
指導主事 山 本 勝 敏 美術館副館長 山 村 仁 志
- 6 教育委員会事務局出席者
総務課係長 熊 坂 奈 美
総務課主任 山 本 正 芳

議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 報告・連絡

- (1) 寄付の採納について
- (2) 府中市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について
- (3) 府中市私立幼稚園等園児の保護者に対する補助金交付規則の一部改正について
- (4) 府中市幼児愛育補助金交付規則の一部改正について
- (5) 平成23年度府中市立八ヶ岳府中山荘利用状況について
- (6) 平成24年度府中市教育委員会研究協力校等について
- (7) 平成23年度文化振興事業結果について
- (8) 平成23年度文化財保護・普及事業結果について
- (9) 平成23年度生涯学習関連事業について
- (10) 平成23年度社会体育事業結果報告について
- (11) 平成23年度国体推進室事業報告について
- (12) 平成23年度図書館利用状況について
- (13) 平成23年度美術館関連事業について
- (14) 「掘り出された府中の遺跡 2012～ムサシカメ丸君のドキ土器夏休み～」の開催について
- (15) 平成24年度平和啓発事業について
- (16) 平成24年度プールの開始予定について
- (17) 府中市立生涯学習センター図書館の臨時休館について
- (18) 企画展「作品たちのささやきを一心できき、そして一つぶやこう」について

第4 その他

第5 教育委員報告

午後1時30分開会

○委員長（久芳美恵子君） ただいまより、平成24年第6回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 本日の会議録署名員は、齋藤委員と糸満委員にお願いいたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 会期は本日1日といたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 本日、傍聴希望の方がいらっしゃいます。許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

では、よろしくお願いいたします。

今回の定例会において、北島委員が都合により欠席する旨の届け出を受けておりますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定により、在任教育委員の過半数の出席を得ていますので、この定例会は有効に成立いたします。

_____ ◇ _____

◎寄付の採納について

○委員長（久芳美恵子君） 本日は、議案の審議はございません。報告・連絡から始めさせていただきます。

報告・連絡（1）につきまして、総務課、お願いいたします。

○総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹（月岡敏浩君） それでは、資料1の寄付の採納につきましてご報告させていただきます。

今回は1件でございます。寄付先は府中市立府中第四中学校に対するもので、寄付品名はスピーカー4台、Taguchi 製で金額は15万円相当でございます。寄付者はご本人の希望により匿名としてございます。受領日は平成24年5月29日で、今後音楽科の授業の中で使用していきたいと考えております。なお、用途につきましては、中吹連東京都吹奏楽コンクールで金賞を受賞した経緯もございまして、音楽教育により一層の充実を心がけているところでございます。府中市教育委員会表彰規程第10条の規定により、10万円相当額以上の寄付に対しましては感謝状を贈呈することができることとなっておりますが、寄付者は匿名を希望されており、感謝状の受け取りにつきましてご辞退いたしますとの申し出を受けておりますので、ご本人の意向を酌みまして、贈呈は行わないことといたしたいと考えております。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。寄付の採納についてでございますが、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

特にございませんようでございますが、大変ありがたいことでございます。匿名をご希望ということで感謝状をお送りすることができないのはちょっと残念でございますが、お気持ちを十分受け取っていききたいと思います。

それでは報告・連絡（1）、寄付の採納について了承いたします。

_____ ◇ _____

◎府中市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について

◎府中市私立幼稚園等園児の保護者に対する補助金交付規則の一部改正について

◎府中市幼児愛育補助金交付規則の一部改正について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（２）から（４）まで一括して、学務保健課からお願いいたします。

○学務保健課長補佐（市川直次君） それでは、報告・連絡（２）（３）（４）を一括して説明させていただきます。

初めに府中市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について、資料２に基づきましてご説明いたします。

１の趣旨でございますが、この補助金は国が保護者の経済的負担を軽減するための補助金でございます。今年度は個人住民税の年少扶養控除の廃止に伴う補助対象区分の所得割課税額の変更と補助限度額の引き上げ及び児童福祉法、障害者自立支援法の改正に伴う施設名称の変更・統合のため、府中市私立幼稚園就園奨励費補助金の要綱の一部を次のように改正するものです。

２の内容でございますが、３枚めくっていただきまして別表第１の「補助対象の区分及び限度額」の新旧対象表をごらんください。下線の部分に変更となったものでございます。補助対象の区分でございますが、個人住民税の年少扶養控除につきましては、平成２２年度税制改正において廃止され、平成２４年６月徴収分から適用されることに伴い、一定のモデル世帯を設定し、当該世帯について負担が生じないよう見直されました。このことにより、第３階層の市民税の所得割課税額が３万４、５００円から７万７、１００円に、第４階層が１８万３、０００円から２１万１、２００円に改正されました。また、補助限度額は全補助区分の補助金が２、０００円から３、０００円引き上げられました。

次ページをお開きください。さらに第２子以降の条件における施設に通園、通所または通学している対象世帯につきましては、平成２４年４月１日からの児童福祉法、障害者自立支援法の改正に伴い、児童福祉施設とされる知的障害通園施設や難聴児童通園施設などに分かれていた施設体系が、障害児通所支援を行う施設へ一元化されたための改正でございます。

次ページ、別表第２の新旧対照表につきましても、同様の理由で下線部分を訂正しております。なお、別表１と２の違いでございますが、別表１は第１子、第２子などが幼稚園に就園している場合で、別表２は小学校児童を有する世帯から第２子以降が幼稚園に就園している場合でございます。

付則について。付則といたしまして、この要綱は平成２４年６月８日から施行し、この要綱改正後の府中市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の規定は、平成２４年４月１日から適用いたします。

続きまして、府中市私立幼稚園等園児の保護者に対する補助金交付規則の一部改正について、資料３に基づきましてご説明いたします。

１の趣旨でございますが、さきに説明させていただきました国の補助金であります就園奨励費の改正と同様に、東京都の補助金であります私立幼稚園等園児の保護者に対する補助金交付規則の一部を改正するものです。

２の内容でございますが、新旧対照表をごらんください。税制改正に伴う区市町村民税と所

得割課税額の改正により、所得基準の下線部分が変更となったものでございます。当該年度に納付すべき市民税所得割課税額が7万7,100円以下の世帯、21万1,200円以下の世帯、25万6,300円以下の世帯にそれぞれの基準が改正されました。なお、府中市では保護者補助金は所得に関係なく全世帯が補助対象となっておりますので、所得割課税額が25万6,300円を超える世帯も補助対象としております。幼児1人当たりの補助金月額につきましては、改正はございません。

次ページをお開きください。就園奨励費の改正と同様に、児童福祉法、障害者自立支援法の改正に伴い、第2子以降の条件における通園、通所、通学先の施設体系が一元化されたための改正でございます。

付則として、この規則は公布の日から施行し、改正後、平成24年4月1日から適用いたします。

続きまして、府中市幼児愛育補助金交付規則の一部改正について、資料4に基づきご説明いたします。この規則は幼児教育施設に在籍する幼児の保護者に対し、府中市幼児愛育補助金を交付することにより、幼児の健全な育成と幼児教育の充実を図ることを目的としております。

1の趣旨でございますが、愛育補助金の所得の基準の補足分につきましては、私立幼稚園保護者補助金や幼稚園就園奨励費補助金などの補助区分が導入されております。税制改正に伴う区市町村市民税所得割課税額の改正に伴い、府中市立幼稚園園児の保護者に対する補助金交付規則の一部を改正するに当たり、公平性、整合性を図るため、府中市幼児愛育補助金交付規則の一部を改正するものです。

2の内容につきましては、新旧対象表をごらんください。税制改正に伴う区市町村市民税所得割課税額の改正により、所得基準の下線部分が変わったものでございます。当該年度に納付すべき市民税所得割課税額が25万6,300円以下の世帯、25万6,300円を超える世帯にそれぞれの基準を改正いたします。なお、幼児1人当たりの補助金月額は改正いたしておりません。

付則として、この規則は公布の日から施行し、規則改正後平成24年4月1日から適用いたします。

以上でございます。よろしく願いいたします。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。報告・連絡(2)から(4)まで関連する法律の改正によりまして、それぞれの交付要綱でありますとか、補助金の交付の規則に関連して一部改正するというところでございます。3つございますので1つずつ。

まず報告・連絡(2)でございます。府中市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

○委員(崎山 弘君) 確認的な意味合いですけれども、これで変わることで、交付される世帯数に変化が来ることはほとんどないと考えてよろしいでしょうか。

○学務保健課長補佐(市川直次君) そのとおりでございます。

○委員(齋藤裕吉君) 私も自分自身がわからないので教えていただきたいのですけれども、この交付の方法というのは直接保護者に対して年間一括とか、あるいは一定の期間をもって交付されるのか。そういう方法について教えてください。

○学務保健課長補佐(市川直次君) 幼稚園就園奨励費でございますが、交付先につきまして

は、園を通して保護者に交付するものでございます。

○委員（齋藤裕吉君） そうしますと、交付を受けている保護者の方は、直接手元に行くという経過はとらないという形ですかね。それを保護者自身が認識されるかどうかですよね。その点はどのようなのでしょうか。

○学務保健課長補佐（市川直次君） この補助金につきましては、保育料の未納がある場合は、園のほうでこの就園奨励費補助金から差し引いたものを保護者に交付するというようにしておりますので、保護者にとっては納得している交付方法でございます。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） よろしいでしょうか。

○委員（齋藤裕吉君） はい。

○委員長（久芳美恵子君） ほかにいかがでございましょうか。

それでは、府中市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について了承いたします。

次に報告・連絡（3）でございます。府中市私立幼稚園等園児の保護者に対する補助金交付規則の一部改正でございますが、この点につきましてはいかがでございましょうか。何かご質問・ご意見ございますでしょうか。よろしゅうございましょうか。

それでは報告・連絡（3）、府中市私立幼稚園等園児の保護者に対する補助金交付規則の一部改正について了承いたします。

次に、報告・連絡（4）でございます。府中市幼児愛育補助金交付規則の一部改正でございますが、いかがでございましょうか。よろしゅうございましょうか。

それでは報告・連絡（4）、府中市幼児愛育補助金交付規則の一部改正について了承いたします。

（2）から（4）まで補助金等の交付規則の改正ということでございます。どうぞよろしくお願いいたします。



◎平成23年度府中市立八ヶ岳府中山荘利用状況について

○委員長（久芳美恵子君） 次に報告・連絡（5）につきまして、総務課、お願いいたします。

○総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹（月岡敏浩君） それでは平成23年度府中市立八ヶ岳府中山荘の利用状況がまとまりましたので、ご報告いたします。資料5をごらんいただきたいと存じます。

上段の大きい表は、平成23年度の月別の市内・在勤・市外の利用者の延べ人数で、右側は稼働率となっております。また、下段の小さい表は平成22年度及び23年度の延べ利用者数などの比較となっております。

下段の表で概要を説明させていただきます。平成23年度の総利用者数の合計は、1万5,577人で、対前年比373人、2.5%の増となっております。内訳といたしましては、一般の利用者で433人の減、セカンドスクールでは806人の増となっております。平成22年度は自然教室と移動教室及びセカンドスクールを施行いたしました合計の利用者数となっております。平成23年度はセカンドスクール実施による利用者数でございます。また、右側の稼働率でございますが、平成23年度は34.8%で、対前年比5%の増となっております。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） 府中市立の八ヶ岳府中山荘の利用状況についてご説明いただきました。平成22年度と比較して23年度の数値が出ておりますが、いかがでございましょうか。何かご質問、ご意見等お願いいたします。

○委員（崎山 弘君） 3月の休憩の利用者の市内がここだけ突出して145名というのがあるのですが、これはイベントか何かがあったのでしょうか。

○総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹（月岡敏浩君） 申しわけございません。詳しいことはちょっと手元に今、資料がございませんので、調べさせていただきたいと存じます。

○委員長（久芳美恵子君） お願いします。

○委員（崎山 弘君） なぜお伺いしたか。こういうところはどうしても公立のものなので稼働率は一般の企業に比べて低いのは当然かもしれませんが、もしイベントなどでこういうのが活用できるのであれば、そういう収入といったら悪いのですけれども、方法もあるのかなと思ったので、何か参考になるものがあったらと思ってお伺いした次第です。

○委員長（久芳美恵子君） ほかにいかがでしょうか。

○委員（齋藤裕吉君） 山荘の附属施設というのでしょうか、飯ごう炊さんの施設がありますよね。あそこに行くたびにここはとてもいいところだなと思うのですけれども、あそこを使っているところというのがありますか。そんなところはこういう数字には出ませんけれども。つまり、いろいろな活動の可能性というのでしょうか、活動の範囲を広げる点で、施設が持っているいろいろな部分を最大限活用できるようにしていくということは大事かなと思うのですけれども、自分が経験していた範囲では、飯ごう炊さん施設というのは一度も使われたことがないような気がするのですけれども、どうでしょうか。

○総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹（月岡敏浩君） 近くのバーベキュー施設のことかと存じますが、総務課のほうにも利用者の報告が上がってございまして、特に夏場、あそこでやっているというところも聞いてございますので、全く利用していないということはございませんので、使えるような状況にはなっております。

以上でございます。

○委員（齋藤裕吉君） わかりました。使える状況であることが大事だと思います。

○委員長（久芳美恵子君） 私から1点ですが、利用者数のところでございますが、セカンドスクールが806でかなりのプラスなのですが、利用者数の小計のところはマイナス433という、セカンドスクールで増えた分の半分ぐらいがここでマイナスになってきているのですが、これは何か傾向がありますでしょうか。例えば前年度と比べて何月にどういうことがなくなったので減ったとか、それとも押しなべてじわじわと減っているとか、その辺はどうなのでしょう。

○総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹（月岡敏浩君） 全体的に一般の利用者につきましては、横ばい状況と考えてございます。ただ、平成23年度につきましては、特に4月なのですが震災の影響がありまして、山荘を避難されている方に一時提供して、一般の利用の方をクローズした理由もございまして、その辺がちょっと影響があるかなと23年度は見てございます。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） わかりました。本当にそうですね。まだ起こってから1カ月とい

うことですから、そういう利用があったということですね。ありがとうございました。

ほかに何かございますでしょうか。特によろしいですか。

それでは報告・連絡（５）、平成２３年度府中市立八ヶ岳府中山荘利用状況について了承いたします。ありがとうございました。



◎平成２４年度府中市教育委員会研究協力校等について

○委員長（久芳美恵子君） 次に報告・連絡（６）でございます。指導室、お願いいたします。

○指導主事（国富 尊君） 平成２４年度府中市教育委員会研究協力校等につきまして、お手元でございます別紙資料６をもとにご報告いたします。

まず府中市教育委員会の研究指定校についてでございます。平成２４年度は思考力、判断力、表現力の育成や言語活動の充実、学力の向上、体力の向上、集団活動や集団づくり、学校防災を研究の主題にした１０校を市の研究協力校として指定いたしました。なお、この１０校に加えまして、府中第三中学校からも協力校への申し込みがありましたので、申請処理の手続きをしました後に指定する予定でございます。

研究協力校のうち、今年度研究発表を予定している学校は、小学校３校、中学校２校で、表の右側にお示ししました日程でございます。委員の皆様にはご都合のつく範囲でご参加いただきまして、研究成果をごらんいただきますとともに、ご意見をいただければ幸いです。

次に東京都教育委員会の研究指定校についてでございます。スポーツ教育推進校、言語能力向上推進校、人権尊重教育推進校、理数教育振興研究協力校としまして、延べ小学校１０校、中学校６校、計１６校が指定されております。今後、都の研究指定校につきましても、事務局として研究の推進を支援するとともに、その研究成果を研修担当者研修会や教務主任会等で積極的に紹介しまして、市全体の教育活動の向上に向けて働きかけてまいります。

以上で、平成２４年度府中市教育委員会研究協力校研究発表会等についての説明を終わります。よろしくお願ひします。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。今、ご説明いただいた府中市教育委員会研究協力校の一覧と発表予定、そしてまた都の教育委員会研究指定校の一覧についてもご説明いただきました。何かございましょうか、ご質問、ご意見等ございましたらどうぞ。

○委員（齋藤裕吉君） この一覧を見ますと、研究主題等がいずれも非常に、今学校で求められているような課題に対応したテーマ等が掲げられていて、ぜひ大きな成果を生み出してほしいなと思います。

予算的な支援という点では、大体どれくらいの支援というのでしょうか。教育委員会から各学校への予算配置になるのでしょうか。市の協力校と都の指定校ではまた違うと思うのですが、あまり細かなくてもよろしいのですけれども、概況というのでしょうか、これを教えていただきたいと思ひます。

○指導主事（国富 尊君） 予算的な支援につきましては、府中市教育委員会の研究協力校について、１年次は年間で１９万円、２年次は年間で３８万円の支援をしています。それから東京都につきましては、スポーツ教育推進校につきましては年間５０万円、それから言語能力向上推進校につきましては年間約６０万円、人権尊重教育推進校につきましては年間約４０万円、理数教育振興研究協力校につきましては年間約１０万円の支援となっています。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） よろしいでしょうか。

○委員（齋藤裕吉君） わかりました。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。ほかにいかがでございましょうか。

○委員（崎山 弘君） テーマとして24・25年度、八中で「地域と共に取り組む学校防災」というのが掲げられているわけですが、府中が取り組んでいるコミュニティスクールというものこれとかかわるような気がするのですが、府中がされているコミュニティスクール、こういう施策とこういう研究というのはリンクして考えていらっしゃるのでしょうか、いかがでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） いかがでしょうか。施策との関連ということです。

○教育部副参事兼指導室長（小椋 孝君） 申しわけございません。研究協力校というくくりでここに載せさせていただいたもので、それが落ちていまして申しわけございません。コミュニティスクールにつきましては、23・24年度で日新小学校、それから第五中学校のほうでモデル校として取り組んでいただいているところでございます。また、年間のまとめ等が出ましたらここでお知らせできるかと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。以上です。

○委員長（久芳美恵子君） よろしいでしょうか。

本当に多くの学校で研究をしていただいて、本当にありがたいことです。やはり校内での研究というのが先生方の実力が一番つくところでもありますし、子どもたちにそれが直接返っていくわけでございますから、事務局の皆さんのバックアップをよろしくお願いいたします。

ほかによろしゅうございましょうか。

それでは報告・連絡（6）、平成24年度府中市教育委員会研究協力校等のご報告を了承いたします。よろしくご指導お願いいたします。



◎平成23年度文化振興事業結果について

◎平成23年度文化財保護・普及事業結果について

◎平成23年度生涯学習関連事業について

◎平成23年度社会体育事業結果報告について

◎平成23年度国体推進室事業報告について

◎平成23年度図書館利用状況について

◎平成23年度美術館関連事業について

○委員長（久芳美恵子君） 次に報告・連絡（7）から（13）まで一括して文化振興課、報告をお願いいたします。

○文化振興課長補佐（時田浩一君） それでは文化スポーツ部の平成23年度事業の結果につきまして、一括してご報告いたします。

まず資料7をごらんください。平成23年度文化振興事業の結果についてご報告いたします。1が第26回府中市青少年音楽祭の開催状況でございます。昨年度は8月27日と28日の2日間にわたり、府中の森芸術劇場で開催いたしました。参加団体数、参加人数は記載のとおりでございます。

2は青少年団体育成奨励事業の状況で、昨年度は府中市青少年吹奏楽団など計6団体に対し、

定期演奏会に伴う会場使用料や器具使用料を補助し、団体の活動を支援いたしました。

続きまして資料8をごらんください。平成23年度文化財保護・普及事業結果についてご報告いたします。1が埋蔵文化財発掘調査の状況で、調査件数は合計56件でございます。

2は文化財の保護・普及に関する事業の状況です。(1)は指定文化財の件数で合計73件、(2)補助事業は府中市史談会の活動に対するものです。(3)は平成22年度に実施した「ふるさと再発見!『武蔵府中歴史まつり2010』」に引き続き開催しました、「がんばろう日本!がんばろう府中!震災復興支援 武蔵府中ふるさとまつり2011」の開催状況、(4)は展示の活用事業でございます。

裏面に移りまして、(5)文化財保存・整備事業は記載のとおりでございます。

次に3は、平成23年4月1日に開館いたしました、ふるさと府中歴史館の運営事業でございます。

4は郷土の森博物館の利用状況です。博物館全体の入館者数は27万8,021人となり、前年度より3万5,901人の減、またプラネタリウム観覧者数は、6万7,022人となり、前年度より5,661人の減となっております。これらは震災による影響のほか、節電対策による休館日の設定、さらには梅の開花が開館以来最も遅れたことなどによるものでございます。なお、特別展示会等の開催状況は記載のとおりでございます。

続きまして資料9をごらんください。平成23年度生涯学習関連事業についてご報告します。1の平和啓発事業としましては、いずれも府中市平和都市宣言25周年記念事業として、記載のとおり夏休み・子どもバスツアー、平和展、平和のつどい、平和コンサートを実施しました。

2の憲法講演会は、「100人の村、あなたもここに生きています」と題し、人権に関する講演会を開催いたしました。

3の公民館事業としましては、家庭教育学級などの全市的公民館事業、各文化センターなどでの地区公民館事業を実施いたしました。

ページ移りまして4~8の定例事業は記載のとおりでございます。

9のセミナー関係事業としては、生涯学習センターで教養セミナー、実技セミナー、スポーツセミナーなど合計85講座を507回行い、延べ2万1,453人の市民が受講しております。

また10のイベント事業として9月には、市民の学習成果の発表の場として、第18回生涯学習フェスティバルを開催し、9,814人の参加がありました。なお、生涯学習センターの利用状況でございますが、次のページに記載のとおり、合計37万5,431人の市民が記載の施設を利用しております。

続きまして資料10をごらんください。平成23年度社会体育事業結果をご報告します。1の社会体育指導者育成事業は、体育指導委員を初め地域の協力者の資質の向上として、府中コミスポ協力者研修会など記載の講習会を実施いたしました。

2のスポーツの生活化推進事業は、市民が自主的に進めるスポーツ活動に、コミスポリーダー等を派遣いたしました。

3の社会体育奨励事業は、春季都民大会23種目に418人の市民代表を派遣するなど、記載の各大会や講習会を実施いたしました。

4の市民スポーツ教室は、日常生活にスポーツを定着させるためにカローリングなどを紹介

したニュースポーツ体験教室を初め、記載の各種教室を実施いたしました。

ページ変わりました5の市民体育大会運営事業及び6のスポーツ大会運営事業は、日ごろの市民のスポーツ活動の成果発表の機会として、記載の大会を実施いたしました。

7のレクリエーション事業は、家族や仲間と楽しめるスポーツに触れ合える機会といたしまして、市内を活動拠点としているトップチームの協力による「ボールふれあいフェスタ」など、記載の事業を実施いたしました。

8の郷土の森総合体育館スポーツ活動事業及び次の9の地域体育施設スポーツ活動事業は、60歳以上の市民が対象の高齢者健康づくり教室など、記載の各種教室を実施いたしました。

10の補助事業は、府中市体育協会加盟団体などが、市民を対象に実施しております各種事業に対して、その経費の一部の負担を行うなど、記載の補助事業を実施してございます。

続きまして資料11をごらんください。平成23年度国体推進室事業についてご報告します。まず1のスポーツ祭東京2013府中市実行委員会に関する事項としましては、第2回定期総会を初め、常任委員会及び各専門委員会を開催しました。また、2の啓発に関する事項としましては、府中市内で開催いたします国民体育大会の正式競技である卓球競技、サッカー競技、軟式野球競技及びデモンストレーションとしてのスポーツ行事であるフォークダンス、ダブルダッチの普及啓発事業を多くの市民参加のもと実施いたしました。そのほか、他課主管事業における啓発活動を行うとともに、横断幕や懸垂幕、バナーフラッグなどを掲出し、スポーツ祭東京2013の開催をPRし、大会開催機運の醸成に努めました。あわせて競技会場となる郷土の森総合体育館や朝日サッカー場、府中市民球場の整備、改修を行いました。

続きまして資料12をごらんください。平成23年度図書館利用状況についてご報告します。平成23年度の図書館と地区館を合わせました図書貸し出し冊数は約220万冊、視聴覚資料を合わせた貸出総合計では、全館で260万件弱となり、前年度と比べ若干減少となりました。これは東日本大震災及び計画停電に伴う開館時間の減少によるものです。

子どもたちへのサービスでは、定例おはなし会、ちいさい子のためのおはなし会を合わせまして362回開催し、4,467名の参加がありました。また小・中学校への学級貸し出しは延べ3,130学級、1万5,433冊となっております。データベースの利用等については記載のとおりで、使えるデータベースを増やし、PRも行い、市民の調査に役立てていただけるよう努めました。

中央図書館の来館者は約98万8,000人で、震災の影響で100万人には達しませんでした。引き続きたくさんの方の市民の皆様にご利用いただきました。

最後に資料13をごらんください。平成23年度府中市美術館関連事業についてご報告します。1の展示会は記載のとおりで、19世紀末フランスのエミール・ガレのガラスなどを紹介した「世紀末、美のかたち」展期間中の開館記念無料観覧日、府中の森文化まつりでは、乳幼児連れの家族から年配の方まで幅広い年齢層の入場者でにぎわいました。

また2の教育普及事業等では、ボランティアとの協同により、ティーンズスタジオを18回開催したほか、公開制作やワークショップなどの関連プログラムの充実に努め、学校教育と連携した美術鑑賞教室などを実施しました。

3の市民ギャラリーでは、市内で活動するグループや個人の展示を初め、市民芸術文化祭や北多摩地区中学校美術展などに利用されました。また、今年3月上旬には、美術館の主催で府

中市民美術展を開催いたしました。1～3を合計した美術館利用者は年間17万58人となります。

4の収集美術作品では、昨年度は作品の購入はありませんでしたが、寄贈による作品収集に努め、75点の寄贈を受けました。

以上で、文化スポーツ部各課の平成23年度事業報告の説明を終わります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。(7)から(13)まで文化スポーツ部関連のご報告でございました。それでは1件ずつ行きたいと思います。

まずは(7)でございます。平成23年度文化振興事業結果でございます。1の府中市青少年音楽祭、そして2の育成奨励事業でございますが、何かご質問ございますでしょうか。よろしゅうございませうか。

どりーむホールは大体2,000人規模ですよね。ですから、両日とも1,700～1,800を超えた方が参加なさっているというのは、ほぼ9割の参加者も含めてご参加、団体の数も含めてご参加になったということだと思います。

それでは、平成23年度文化振興事業結果について了承いたします。

次に(8)です。平成23年度文化財保護・普及事業結果につきまして、いかがでございませうか。埋蔵文化財の発掘調査、文化財の保護・普及に関する事業、そして3はふるさと府中歴史館の運営事業、4の郷土の森博物館の利用状況でございますが、いかがでございませうか。特にご質問等はございませぬですか。

郷土の森博物館のご説明のところで、震災や計画停電に伴う休館や梅の開花の遅れ等で、全体的には3万人ほどの減だったということでございますが、いろいろな状況がございます。その原因については理解できるところでございます。

それでは報告・連絡(8)、平成23年度文化財保護・普及事業結果につきまして了承いたします。

次に報告・連絡(9)です。平成23年度生涯学習関連事業につきましていかがでございませうか。平和啓発事業に関する事項でありますとか、憲法週間の事業、それから公民館事業、そして社会教育関係団体に関する事項、学校週5日制事業、学校開放事業、委託事業、生涯学習サポーター事業、そしてセミナー関係、イベント事業、本当に盛りだくさんの多くの事業をやっていただいております。いかがでございませうか。

○委員（崎山 弘君） セミナー関連事業のところで、生涯学習ファシリテーター養成講座、サポーター養成講座ですね。5回開催して参加者が9人、中級のファシリテーター講座が8回開催して参加者が14人ということは、少なくとも1人あるいはゼロの回数があったと読めるわけですけども。とういことはこの事業に関してはニーズがはっきり言ってなかったのか、それともニーズはあったけれども、宣伝の仕方がまずかったとか何かそういう要因とか、あるいは来年度に向けてこれはどうするのか、ちょっとそこら辺をお願いします。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） 生涯学習ファシリテーター養成講座といいますが、地域におきまして「学び返し」を基本としまして、得た知識を地域に返していくという場面で担い手になっていただくという養成講座になっております。一方、サポーター養成講座につきましては、そのファシリテーターのサポートをする形になるのですが、利用者、市民の方

の要望といたしましては、ファシリテーターのほうが非常に強かったということで、こういった参加人数の差が出ていると考えております。

今年度につきましては、その人気の高かった部分、注目があつたファシリテーターの養成講座の上級というものも行いまして、拡充を図っていきたいと思います。あわせましてそのサポーターにつきましても、さらに受講者が増えていただけるように、こちらとしてもちゃんと調査をして、展開を考えていきたいと思っています。以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） いかがですか。

○委員（崎山 弘君） 参加者が増えることを考えているということは、ニーズがあると、市民からのニーズは明らかにあると評価されているわけですか。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） 募集をかけたところ、参加者数がこれだけございますので、ニーズはあるというふうに認識しております。以上でございます。

○委員（崎山 弘君） 実質上その9名の参加者数は、正直言ってニーズはないと評価したほうがいいのではないかと私は思うのですけれども、ちょっとそこら辺は検討していただきたいなと思います。

○委員長（久芳美恵子君） では、それに関連して私からですが、生涯学習のサポーター事業で、旧のリーダーバンクですけれども、これの登録者数が54名、平成24年3月31日現在ですが、これが平成23年度ですか、新規の方がどのくらいいらしたのか。年間で横ばいなのか増えているのか、その辺はいかがでしょう。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） 申しわけございません。54人のうちの新規が今、手元にございませんで把握しておりませんが、前年度では71名ございました。ですので、減少しておりますが、その理由としては、このサポーター事業に登録している方の中で年齢が高齢になった方もいらっしゃるということで、登録しない方も増えてきた理由だと思います。

○委員長（久芳美恵子君） ファシリテーターもそうですけれども、「学び返し」ということでサポーターとして登録していただいて、新しい方をサポートするという趣旨だったと思うのですが、なかなか残念ですね。やっぱりこれが増えていくということがすそ野が広がっていくことだろうと思っておりますので、サポーターがどのくらいの魅力があるものかということが影響しているのかなとも思いますけれども、その辺またご検討いただければと思います。

ほかはいかがでしょう。

○委員（齋藤裕吉君） 今の関連ですけれども、セミナーの関係事業の参加人数です。これは延べ人数ということですか、実人数ということでしょうか。それによって結構この数字の解釈の仕方が変わってくるかなと思うのですけれども。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） 延べ人数でございます。

○委員（齋藤裕吉君） ということになりますと、やっぱり参加者数が少ない講座等については、例えば宣伝活動がもっと必要であるとか、内容的にもう一度よく検討し直していく必要があるとか、そういうふうに思わなければいけないものもやはりあるのかなと思います。例えばファシリテーターの中級、講座数としては1つですが、開催が8回ということで延べが14人ということは、1回当たり2人でも16人になるわけですけれども、そこまで行っていないということで、ちょっと内容の再検討、吟味というのでしょうか、やっぱりしていったほうがよいのかなと思います。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。よろしくお願ひいたします。ほかにいかがでございましょうか。よろしいでしょうか。

それでは報告・連絡（9）、平成23年度生涯学習関連事業について了承いたします。本当にさまざまな事業を精力的にやっていただいておりますが、検討すべきところは検討していただきたいと思ひます。

それでは報告・連絡（10）です。平成23年度社会体育事業の結果報告でございます。これについてはどうでしょうか。いかがでございましょうか。

それでは私のほうから1点、内容についてご説明いただけるとありがたいのですが、8の総合体育館のスポーツ活動事業の中にごさいます、女性教室というものがあつて、2種目でこれが4,998人とかなり多くの人数の方がご参加いただいておりますが、具体的にはどのようなことがなされているのでしょうか。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） こちら女性教室でございますが、主にトレーニングと軽スポーツという分け方で実施をさせていただきまして、さらにそのトレーニングについては曜日でコースを分けてございます。その中で対象は高校生相当以上の女性の市民で、ストレッチ、エアロビクス、ジャズダンスなどを行っているものでございます。期間は4月から3月ということで、8月の休み期間を除いた期間、1年間を通してということで実施している事業でございます。以上です。

○委員長（久芳美恵子君） なるほど。かなり要望が高いということでございますね。スポーツクラブでもやっていることでしょうけれども、市のほうの施設で十分整っていますので、そこでの活動がたくさんなされているということでございますね。わかりました。

ほかにいかがでございましょうか。

○委員（崎山 弘君） 今回は昨年度の結果報告ということになっているわけですが、当然、報告ということは、来年度、既に始まっている今年度の事業に継続されるものも幾つかあると思ひます。1つお伺ひしたいのですけれども、ここにも出てくる6のスポーツ大会の中にある府中駅伝競走大会、その直後の教育委員会でも私が発言した覚えがあるのですが、交通規制をどうするかという点に関してちょっと疑問を感じているところではありますが、今年度の予定としては交通規制をどのようにする計画があるか、もし現時点でわかっているところがあれば教えてください。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） 府中駅伝競走大会でございますが、昨年、中学生の参加の対象の規制を従来と変更いたしました。そのことに伴つて中学生の利用者がとても多く、非常に盛況であった反面、多摩川かぜの道、細い道をやはり日常利用されている市民の方々等々相まつて、非常に安全面等については委員さん方々からの危惧をいただいたところでございます。このことに伴つて私ども市の関係課と調整をして、なおかつ警察とも今後のあり方、交通規制等について協議を進めていきたいと考えております。以上でございます。

○委員（崎山 弘君） マラソン大会はここには出てこないのですけれども、それも同じことと考えてよろしいですか。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） ただいま府中駅伝競走ということでの補足をいたしました。陸上競技協会とも連携を図りまして、同様な動きで今後相談していきたいという考えでございます。以上でございます。

○委員長(久芳美恵子君) よろしくお願ひいたします。ほかにはいかがでございましょうか。よろしゅうございましょうか。

それでは報告・連絡(10)、23年度社会体育事業結果報告、了承いたします。

では、報告・連絡(11)です。23年度国体推進室事業報告でございしますが、いかがでございましょうか。

○委員(齋藤裕吉君) 裏のほうの(3)広報物品による啓発というところの中のバナーフラッグとありますけれども、これはのぼり旗のようなものなのですか。

○国体推進室長(山下隆久君) バナーフラッグにつきましては、商店街またはけやき並木等にございます、今FC東京さんが掲出している旗のことを差しておりまして、特にこのバナーフラッグについては、40旗については、けやき並木の防犯灯、街路灯に付随してついているものとなります。以上でございます。

○委員(齋藤裕吉君) わかりました。のぼり旗のようなものだったらほかにもいろいろ転用できるなど思ってお聞きしたのですけれども。例えば東京中学生駅伝大会というのが寂しかったと思ったのですけれども。わかりました。

ただ、この機会に例えばそういうのぼり旗のようなものをつくってもらうのもいいのではないかなと今、思っているところですが、

○委員長(久芳美恵子君) そうですね。ほかにはいかがでございましょうか。

別に大きいことではないのですが、その他に関する事項のところ、山口国体で軟式野球とサッカーと卓球競技の視察をしていらっしゃるんですが、視察者1名というのは、トータルで1名ということですか。延べで3名になっていますか。

○国体推進室長(山下隆久君) 昨年度の国体推進室の職員体制が、それぞれ各競技1名ずつということで配置しておりましたので、それぞれ1名ずつになりますが、今年度につきましては増員を図っております。

○委員長(久芳美恵子君) わかりました。ほかにはいかがでございましょうか。よろしゅうございましょうか。

それでは報告・連絡(11)、23年度国体推進室事業報告について了承いたします。

続きまして資料12でございします。平成23年度図書館利用状況でございします。いかがでございましょうか。

○委員(崎山 弘君) 中央図書館も新しく立派になって、貸し出しも非常にオートマチックですばらしいシステムだと思うのですが、中央図書館でも10月19日に蔵書点検されていますけれども、この1年間で紛失した蔵書、あるいは視聴覚資料などでどの程度あるのか。それが今回新しい中央図書館のああいう形のシステムになって、これで紛失を防ぐことができた、あるいは減ったとか、そういうデータは出ているのでしょうか。

○図書館長補佐(坪井茂美君) 新しい図書館になりまして、ICタグを貼付し、中央図書館と生涯学習センターのみにはなりますが、盗難防止装置を設置しております。その関係もございまして、紛失というものは大分減っているということはたしかでございします。大変申しわけありません。その数値のほうは今、手元でございしませんので、後ほどと思っておりますが、ただICタグを外せば持ち出せるという事実がございしますので、いろいろな対策をまだしていかなければいけないということで、現在は書架整理をしながらスタッフ、職員などで見回りをし

ておりまして、不審な動きがないようにしているところでございます。以上でございます。

○委員(崎山 弘君) 民間で考えれば、普通棚卸をして、そこで確実に把握するはずなので、ここに蔵書冊数は出ているわけですから、新規購入したのはこれだけで、破損して破棄するものもあって当然だと思う。それがどれだけ減っている。実は盗難もどれだけあるという数字が出るはずだと思うので、やはりそこら辺をしっかりと把握していただかないといけないのではないかと思います。

○委員(齋藤裕吉君) いただいた資料の下のほうの囲みのあるそれぞれの幾つかの事業の中で、おはなし会、開催回数が200回、それからちいさい子のおはなし会、開催数が162回ということで、これはとても素晴らしいことだなと思います。小さなサークルというのでしょうか、輪をつくって、そこで語って聞かせるというような形というのはとてもよいことだなと思います。

この語り部はどなたがなさっているのかということです。市の職員の方がプロとして研修していらっしゃるのかもしれませんが、あるいはボランティアの方もいらっしゃるかもしれません。その辺実態を教えてください。

○図書館長補佐(坪井茂美君) おはなし会、こちらの合計は中央図書館と地区図書館の合計になってございますが、それぞれ地区図書館におきましても中央におきましても、市の職員とボランティアの方とで共同で行っております。おはなし会、ちいさい子のためのおはなし会も同様でございます。現在、おはなしボランティアの方、定期的にステップアップ講座もさせていただいておりますし、自主的にグループで向上のために定期的な研修会なども行っており、それに市の図書館と職員のほうも参加しているところでございます。以上でございます。

○委員(齋藤裕吉君) よくストーリーテリングとかいろいろな手法があるようでございますけれども、まず耳から入って、そして絵や文字というふうに子どもたちが本好きになるような、そういう導きをしてもらうと大変よろしいなと思います。今後もよろしく願いいたします。

○委員長(久芳美恵子君) 今、ご質問をさせていただいたそのおはなし会のボランティアの方なのですが、その方たちはいわゆる「学び返し」のメンバーの中に入っているのか。それとも全く別の図書館独自のそういうシステムなのでしょう。

○図書館長補佐(坪井茂美君) 大変申しわけありませんが、「学び返し」の方もいるかもしれませんが、おはなしボランティアに関しましては図書館独自で募集のほうをさせていただいております。それにおきましても、先ほど申し上げましたように読み聞かせの講習会を行っておりますので、それを受けた方の中で、公立図書館で活動をご希望の方を受け入れていくという形になります。以上でございます。

○委員長(久芳美恵子君) この辺が別にいろいろなところでやっていてよくないということではないのですけれども、できればボランティアの方々の個人でもサークルでも市に登録する場合、やっぱり一元化をする必要があると思うのです。ですから、この辺が図書館独自でやっている事業とかいろいろなところでやっている事業はあるけれども、そこで要請された人たちがボランティアであるとか、いろいろ活動してくださるときに、やはりある程度一元化したところで登録をしていただくと、この図書館の事業だけではなくて、市民の方々に小さいサークルをやっているけれども、どなたか来てくれないかなんてというときに紹介ができるような気

がするのです。これは図書館だけではないので、すぐにはできないとは思いますが、その方向が望ましいと思っています。

○**図書館長補佐（坪井茂美君）** おはなしボランティアにつきましては、確かに中心的には公立図書館でおはなし会をしていただいておりますが、一応おはなしボランティアバンクということで、サークルを形成させていただいて、必要に応じてほかの、例えば保育所であるとか幼稚園であるとか、そういうところでおはなし会をご希望される方には、その中のメンバーをご紹介するという方式は現在もとっている。ただ、全体的にもう少しPRも必要で、ほかのそういうところでご希望のところがあればご紹介できるような仕組みは、今後も考えていきたいと思っております。以上でございます。

○**委員長（久芳美恵子君）** もう1件なのですけれども、これは感想です。学級貸し出しが延べ3, 130学級、それも1万5, 000冊ということですから、かなりの数になってきたのかなと思っております。学校の教材というか指導する先生方の教科書以外のところで貸し出される、それが図書館とタイアップしてやれるということは非常に望ましくて、うれしいことだなと思っております。

ほかにいかがでございましょうか。よろしゅうございましょうか。

それでは報告・連絡（12）、23年度図書館利用状況について了承いたします。

そして（13）でございます。23年度美術館関連事業につきましてのご報告がございました。これはいかがでございましょうか。

○**委員（齋藤裕吉君）** 美術館のほうでも非常に意欲的な企画展など取り組んでいただいて、私も何度か参観をさせていただいて、大変おもしろかったと思っております。その中で、2番目の教育普及事業等の中の⑩のボランティア活動という欄があるのですが、美術館ではボランティア活動をしてくださっている方々の活動の内容というのはどのようなことなのか教えてください。

○**美術館副館長（山村仁志君）** ボランティア活動の内容でございますが、一番頻りにやられている活動は、毎週土曜日に行っているティーンズスタジオワークショップの補助、それから公開制作のいろいろなイベントの補助、それからワークショップの補助という形で、特にティーンズスタジオで毎週第一土曜日に行っているオープンスタジオという、これ未就学児も含めた子どもたち、1日大体100人ぐらいいらっしゃるときには、ボランティアの方が大活躍で、7～8人のボランティアの方に手伝っていただかないととてもできないことになっていますので、特にその活動が多いです。以上です。

○**委員（齋藤裕吉君）** ありがとうございます。

○**委員長（久芳美恵子君）** ほかにいかがでございましょうか。

それでは、報告・連絡（13）、平成23年度美術館関連事業について了承いたします。本当にありがとうございました。



◎「掘り出された府中の遺跡2012～ムサシカメ丸君のドキ土器夏休み～」の開催について

○**委員長（久芳美恵子君）** それでは、報告・連絡（14）でございます。この件に関しまして資料はございません。ふるさと文化財課、お願いいたします。

○**ふるさと文化財課長補佐（谷本耕一君）** それではふるさと文化財課から、資料はございま

せんが、(14)「掘り出された府中の遺跡2012～ムサシカメ丸君のドキ土器夏休み～」の開催につきましてご報告いたします。

ふるさと府中歴史館、平成24年度最新出土資料展といたしまして、昨年度行われました市内の遺跡調査の様子がわかる写真パネルや、出土した土器などの実物を展示いたします。平日はパネルを中心に展示し、土曜、日曜日には出土した遺物も展示いたします。また、土曜、日曜日には夏休み子ども向けワークショップとして、触れる土器コーナー、拓本を掘ってみよう、ケヤキのしおりづくりを行います。会期は平成24年7月21日土曜日から9月2日日曜日まで、会場はふるさと府中歴史館3階会議室です。期間中も8月28日から9月2日には、「あなたのお宝鑑定します」として、来館者自慢のお宝や土器などの遺物の種別や時代をその場で鑑定いたします。また、実施時期は未定でございますが、小・中学生対象の「発掘ドキ土器体験」として、実際に発掘現場での発掘調査の体験を行います。詳細が決まりましたら、各学校あてにポスター、チラシを配付させていただき、周知をお願いしてまいります。以上でございます。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。ちょうど夏休み期間ということで、多くの子どもたちが参加してくれるといいかなと思います。いかがでございましょうか。ふるさと府中歴史館でということですか。

1つお聞きしてよろしいでしょうか。お宝鑑定のお宝というのは土器ということですか。

○ふるさと文化財課長補佐(谷本耕一君) 土器や瓦などです。そういったものも鑑定させていただきます。

○委員長(久芳美恵子君) 手元に持っている人は、こういうことがあると楽しいでしょうね。ほかにかがでございましょうか。よろしゅうございましょうか。

それでは報告・連絡(14)、「掘り出された府中の遺跡2012～ムサシカメ丸君のドキ土器夏休み～」、非常にユニークなタイトルで子どもたちに受けると思います。どうぞよろしくお願いいたします。



◎平成24年度平和啓発事業について

○委員長(久芳美恵子君) 続きまして報告・連絡(15)でございます。生涯学習スポーツ課、お願いいたします。

○生涯学習推進担当副主幹(茂木孝之君) それでは生涯学習スポーツ課より、平成24年度平和啓発事業につきまして、資料15に基づきご報告いたします。

1の趣旨でございますが、府中市では昭和61年8月15日に、世界平和への願いと愛する郷土を未来に引き継ぐ決意のもとに、府中市平和都市宣言を行いました。この趣旨に沿って、記載の事業を平和に関する啓発活動として実施するものでございます。

次に2の内容でございますが、7月26日には夏休み・子ども平和バスツアーを行い、明治大学登戸研究資料館などを訪れます。8月4日には戦争体験談朗読会と映画会を兼ねた平和のつどいを開催し、7月31日から8月6日まではルミエール府中におきまして、東京都所蔵の戦時資料及び白糸台掩体壕に関する展示を行い、8月17日から30日までは生涯学習センターにおきまして、原爆に関するパネル展示を行います。また、来年の2月から3月にかけて、3月10日の東京都平和の日になんだパネル展を開催する予定でございます。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。平和啓発事業についてのご報告でした。何かご質問、ご意見等ございましたらどうぞ。

○委員（齋藤裕吉君） 平和展の中の原爆に関する展示というところの期間、開催日時のところですか。これは広島、長崎というのを中心にした展示ということになるのですかね。8月6日と9日でしたか。そのこのところの後の開催ということですが、別に少しぐらいずれても構わないのですけれども、そういう日にちというものの意識は特にはなかったのでしょうか。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） 終戦の日や原爆投下の日などを意識して日程は設定しております。学習センターで行われます8月17日から30日におきましては、学習センターに戦争に関連したパネルがございますので、そちらを展示する予定でおります。以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。毎年平和啓発事業についてはこのような形でやっているわけですが、昨年度、子どもバスツアーの参加者が38ということで、ちょっと寂しいかなという感じはするのですが、この辺というのは大体毎年バス1台を超えないという感じで実施していらっしゃるのでしょうか。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） バスの定員もございまして、募集定員は毎回40名とさせていただいております。あと、参加する子どもに加えまして、参加可能な保護者の方にもご同行いただいておりますので、この人数の設定が適当であると考えております。

○委員長（久芳美恵子君） わかりました。人数的にはやはり保護者が一緒にいらっしゃる子どもさんもいらっしゃるわけですね。小学校4年生ぐらいだったらやはり保護者がいらっしゃるということで、できればこのバスツアーの募集が40であれば、毎年来たいと思う方もいらっしゃるでしょうし、そうでなくてできるだけ多く子どもたちがいろいろ見てもらえるといいかなと思うので、例えば昨年を引き続きという方は後に回っていただくとか、そういうことは考えていらっしゃるのでしょうか。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） 定員を超えた応募がございました場合には、そういったところを加味して抽せんを行う考えではあります。

○委員長（久芳美恵子君） ということは、なかなか定員を超えた形での応募はないということですね。大変残念なことなので、本当に府中の小・中学校全部に周知していただいていると思うのですが、ぜひその辺のところ、もう一度力を入れていただければと思います。人数が多過ぎて抽せんするぐらいが本当はいいかと思います。よろしく願いいたします。

ほかはいかがでございましょうか。よろしゅうございましょうか。

それでは報告・連絡（15）、24年度平和啓発事業について了承いたします。どうぞよろしく願いいたします。



◎平成24年度プールの開始予定について

○委員長（久芳美恵子君） 次に（16）でございます。生涯学習スポーツ課、よろしく願いいたします。

○生涯学習スポーツ課長補佐（古田 実君） 続きまして生涯学習スポーツ課より、平成24年度プール開始予定につきまして、別紙資料16に基づきご報告いたします。

市内にあります8カ所の市営プールは、例年学校の夏休み期間に合わせて開催しております。

本年度は別紙資料のとおり、7月21日から8月31日まで開催を予定しております。プールの運営に当たりましては、利用者が安心して楽しくご利用いただけますよう、受託業者と安全管理、衛生管理等々について十分連携を図り、事故の事前防止に努めてまいりたいと考えております。以上でございます。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。今年度のプール開催についてでございますが、いかがでございましょうか。

○委員(崎山 弘君) たしか昨年と同じことを言った記憶があるのですが、受託業者がやるのだと思いますが、やはり市の職員が直接排水溝の金属の格子の取りつけに関しては、市のほうで一応点検をしていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

○委員長(久芳美恵子君) そうですね。事故が起こってしまったからでは遅いので、ぜひその辺のところ、重ねてお願いいたします。

プールの数も結構多いので、なかなか点検には時間がかかるし、人員もかかるとは思いますが、よろしゅうございましょうか。

それでは報告・連絡(16)、平成24年度プール開催ご案内について了承いたします。



◎府中市立生涯学習センター図書館の臨時休館について

○委員長(久芳美恵子君) 次に報告・連絡(17)、図書館、お願いいたします。

○図書館長補佐(坪井茂美君) 図書館より府中市立生涯学習センター図書館の臨時休館につきまして、別紙資料17に基づきご報告いたします。

今年度、現在の中央図書館が開館して5年がたちます。5年を機にシステムを停電やトラブルから守るため、LAN関連機器の更新を行います。その作業は図書館オンラインシステムを停止させて行いますので、定例館内整理日の休館日に実施いたしますが、生涯学習センター図書館のみが開館しておりますため臨時休館するものです。日程は7月17日火曜日、1日でございます。

周知につきましては図書館ホームページも停止するため、『広報ふちゅう』やポスター掲示等のほか、図書館及び市のホームページにも掲載いたします。よろしくお願いたします。以上でございます。

○委員長(久芳美恵子君) 生涯学習センター図書館の臨時休館でございます。これはよろしゅうございますね。どうぞよろしくお願いたします。



◎企画展「作品たちのささやきを一心できき、そして一つぶやこう」について

○委員長(久芳美恵子君) それでは報告・連絡(18)でございます。美術館、お願いいたします。

○美術館副館長(山村仁志君) それでは、美術館から次回の企画展について報告します。お手元の別紙資料18をごらんください。

7月14日土曜日から9月5日日曜日まで、「作品たちのささやきを一心できき、そして一つぶやこう」を開催いたします。約50点の展示品でご紹介いたします。

夏休みの時期に子どもたちに毎年好評な展覧会を、今年は「親子で旅する展覧会 作品たちのささやきを一心できき、そして一つぶやこう」と題して開催いたします。夏の朝、絵から飛

び出してきた生き物たちに誘われて、絵の世界に旅に出るという設定になっております。絵の中に生きる人々や、ペンギン、うさぎたちと会話をしながら、山、海、森、そして高原や川へと歩みを進めます。油絵や版画、立体作品などさまざまなジャンルの作品のささやきに耳を傾けながら、親と子で美術の見方や楽しみを体験する展覧会です。

資料をお開きいただいて、2ページ右のほうをごらんください。親子で展覧会を楽しめるさまざまな関連企画、イベントを用意しています。イブニングミュージアム、ギャラリートゥアー、ウサギと旅するワークシート、ささやき投句——これは俳句です。つぶやき人気投票。また1枚めくっていただきまして3ページをごらんください。模写のきょうしつ、特別プログラムなど見る、聞く、参加する、描く、つくることを通しまして、クイズあるいは簡単なワークショップを通じて、絵に親しみが持てるように工夫してございます。作品鑑賞と楽しみ方の様々な方法がわかります、子どもから大人まで楽しめる展覧会です。

また1階の創作室では、ティーンズスタジオ夏休みスペシャル「図画工作スタジオ！」や、夏休み自由工作工房「タワーをつくろう」——これは木工のワークショップです。を開催いたします。また、資料には掲載が間に合いませんでしたが、同時開催の公開制作ではアニメーションがつくるさまざまなアートを開催いたします。府中に取材したアニメーションの、プロのアニメーション作家である青木純氏が制作いたします。ふだん美術や美術家あまり親しみを持っていない子どもたちや大人でも楽しめるイベントを用意しております。

なお、各文化センター、市内各施設にチラシ、ポスターを配付するほか、各小・中学校には後日チラシ、ポスターを配付いたします。ご周知のご協力をお願いしたいと思っております。以上です。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。美術館企画展、「作品たちのささやきを一心できき、そして一つぶやこう」という夏休みにかけての展覧会でございます。何かご質問、ご意見等ございましたらどうぞ。

○委員(崎山 弘君) 1つお伺いしたいのですけれども、美術館の問い合わせに「ハローダイヤル」というのが書かれていて、「03」から始まる番号なのですけれども、これはテープか何かの案内、それとも専門に応答してくれるサービスなのか、ちょっとお伺いしたいです。

○美術館副館長(山村仁志君) これはNTTのほうのハローダイヤルとの契約で、こちらから資料を、交通案内とかが一番お問い合わせが多いので、簡単にわかるものと、それからこういう展覧会ごとに異なる情報をこちらで全部お渡しして、向こうで人に答えていただく、そういうシステムです。

○委員長(久芳美恵子君) ほかにいかがでございましょうか。いつも大変楽しい企画を立てていただいております。子どもたちが本当に楽しそうに参加してくれている姿を思い描くことができますが、ぜひこの夏休みにもし親子でなかったとしても参加してもらえればいいかなと思います。どうぞよろしく願いいたします。

報告・連絡は以上でございます。



○委員長(久芳美恵子君) その他、何かございますでしょうか。

○総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹(月岡敏浩君) 先ほど崎山委員さんからご質問がございました、府中市立八ヶ岳府中山荘利用状況の3月の休憩についてご報告させていた

だいてよろしいでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） お願いします。

○総務課長補佐兼学校耐震化等推進担当副主幹（月岡敏浩君） こちらにつきましては、市の児童青少年課が、ジュニアリーダー講習会運営委員会で、大人36人と子ども36人を連れて八ヶ岳のほうへ宿泊されて、宿泊よりも早目にチェックイン、翌日遅目にチェックアウトしたいということで、休憩をとったという状況となっております。以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ということでございます。ほかにございませんでしょうか。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） 先ほど定例会資料9によりご説明しました内容について訂正がございますので、ご説明させていただいてよろしいでしょうか。

○委員長（久芳美恵子君） お願いします。

○生涯学習推進担当副主幹（茂木孝之君） 申し訳ございません。「平成23年度生涯学習関連事業について」の中の、9のセミナー関係事業の生涯学習サポーター養成講座、生涯学習ファシリテーター養成講座の参加者数でございますが、この部分だけは、延べ人数ではなく実人数となっております。また、8の生涯学習サポーター事業の登録者数は54人ではなく80人でした。大変失礼いたしました。

○委員長（久芳美恵子君） ということでございます。それでは教育委員の報告に移ります。



◎教育委員報告

○委員長（久芳美恵子君） 教育委員報告をお願いいたします。

○委員（崎山 弘君） では、まず崎山より報告いたします。前回の定例会以降の活動について。

5月21日月曜日、まだ皆さんの記憶に新しいと思いますが、金環日食が観察されました。早めに登校させて観察会をしている学校、情報提供して家族の方と観察を促している学校など、それぞれ対応されていたようです。府中近辺は幸い薄曇りで本来は勧められない方法ではありますが、肉眼でも金環日食が確認できるような状況でした。全国的には網膜を損傷した方が200人以上報告されているという報道もありましたが、府中市では幸い日差しも強くなかったため、子どもたちも比較的 safely に観察できたのではないかなと思います。学校を通じての情報提供も有意義だったと感じております。

5月24日木曜日、市町村教育委員会連合会第51回定期総会に、会計監査を務めている北島委員とともに出席してまいりました。今年度の予算並びに活動計画が滞りなく承認されておりました。

6月2日、国際ソロプチミスト東京一府中が主催する、第7回クラブ・ユース・フォーラム～高校生の論文発表会～に参加いたしました。糸満教育長、瀧島統括指導主事も来賓として参加されておられました。私はここで、「あなたの健康を守るために～正しく知ることが安心の第一歩～」というタイトルで、世の中にあふれている情報を正しく理解する大切さ、データを示した事実があっても、そこから導かれる結論は、結局は推論であり、必ずしも真実ではないという内容で基調講演を行いました。また、シンチレーションサーベイメーターを使った簡単な放射能実験もあわせて行いました。参加した高校生には、あらかじめ「あなた自身の健康について考える」というテーマで、予防接種、薬剤、放射能などについて論文を提出していただき、

優秀作を表彰するというものでした。発表された論文は皆さんよく考えておられる内容で感心いたしました。それがちょうどこの部屋で行われました。

6月17日、郷土の森総合体育館で行われた「ボールふれあいフェスタ」に参加しました。男子バスケットボールチームのトヨタ自動車アルバルク、ラグビーのサントリーサンゴリアス、東芝ブレイブルーパス、バレーボールとサッカーのFC東京、フットサルの府中アスレティックFCと、日本を代表するトップチームの選手たちが協力していただいている催しで、府中が大変恵まれた環境にあるということを改めて感じました。多くの子どもたちが楽しそうに参加しておりました。

この開会式に引き続いて、北島委員と郷土の森博物館に立ち寄り、現在開催されているあじさいまつりと、企画展「府中メモリアルー記念品から見た地域の歴史ー」、並びに企画展「武蔵府中の板碑ー石に刻まれた中世ー」を見学してまいりました。あじさいの小径、ハケの下の流れを中心に、数多くのよく手入れされたあじさいが見事に咲いており、多くの入場者でにぎわっておりました。あじさい工房では、子どもたちが工作を楽しんでおりました。博物館の企画展も日常的に見かけながら意識していない文物から歴史を考察する姿勢を学ぶことができる有意義な展示でした。

この日、6月17日は郷土の森エリアで、スポーツ、自然観察、歴史など教育委員会にかかわる多彩な催しが同時に行われることをすばらしいと思うと同時に、休日にもかかわらず市民参加のために努力されているスポーツチームの皆様、また教育委員会の関係者の皆様に敬意をあらわしたいです。以上です。

○委員（糸満純一郎君） それでは糸満から報告させていただきます。5月19日にスポーツ祭東京2013の総会がございましたので、出席をいたしました。同じ5月19日の夕刻から、府中国際友好交流会の総会がございまして、高校生がウィーン市との交流ということで、国際的な交流を民間レベルでも進めていただいているということでございます。

5月21日に遺跡調査会がございまして、出席をいたしました。

5月22日に文教委員協議会、府中市議会がございまして、児童・生徒の善行、それから問題行動等の報告をいたしました。同じ5月22日に、府中市赤十字奉仕団の総会がございまして、ごあいさつをいたしました。

5月24日は市民表彰式がルミエールでございまして、参加といたしますか立ち会いをいたしました。

5月25日は租税教育推進協議会が開催されまして、なかなか租税教育教室といたしますか、開催できる時間的な余裕が少なくなってきたのかなということで、できれば大切なことですので、府中の学校でも積極的に取り組んでいただけたらありがたいなという感想を持ちました。

それから5月31日ですけれども、府中の11の中学校の校長先生と、それから府中に所在する都立の高校、普通科、農業、工業合わせて5校の校長先生との懇談会がございまして、私、そこには間に合わなかったのですけれども、その終了後の懇親会には間に合って行きまして、何とか可能な範囲で府中の地元の中学校、そして高校、輪を広げて小学校も含めて何らかの形で、せっかく同じ地域にある学校ですから交流ができないものかということで、検討を進めることということになっております。

それから6月2日、先ほど崎山委員からご報告がございましたとおり、国際ソロブチミスト

東京一府中のユース・フォーラムに参加いたしまして、あらかじめ崎山先生のほうからテーマが示されていたのだと思うのですけれども、かなり高校生にしてはしっかりした作文といえますか論文が発表されておりました。あわせて崎山講師による講演会も聞かせていただきまして、我々でも大変興味のあるお話を聞くことができました。

6月4日、市議会の定例会が始まりまして、5日、6日は一般質問がございました。この内容につきましては、次回の教育委員会で報告されるかと思えます。昨日、6月20日までで定例会が終了しております。

それから6月17日、私も「ボールふれあいフェスタ」に参加させていただきまして、府中は本当に全国区の一流のアスリートが集まっているなという実感を持ちました。以上でございます。

○委員（齋藤裕吉君） それでは、齋藤から報告をさせていただきます。

前回の定例教育委員会以後ということになりますと、その日の夜、5月17日、P連の歓送迎会がございまして出席をいたしました。本当にお父さん、お母さん方が元気ですね。すばらしい元気で、あの元気な結束力が府中の教育の基盤で支えてくれているのだなということを感じながら出席をした次第です。

それから5月26日土曜日ですけれども、この日は市内の運動会の視察をいたしました。最初は府中第二小学校に参りました。930名の児童ということで、もう1,000名近い子どもたちです。さすがに勢いと熱気のある雰囲気の中での演技でありました。すばらしかったです。

足元の校庭が芝生ということだったのですけれども、かなり部分的に傷みがあるようでありまして、土が露出しているという部分も結構目立ってしまっていました。靴を履いての競技でした。

それから、その後四谷小学校の運動会を視察いたしました。こちらは土のグラウンドです。ただし、土のグラウンドで行うのは今回が最後ということで、この夏には芝生を張るということです。650名ほどの子どもたち、元気いっぱい活動しておりました。

プログラムの中に、学校のすぐ近くにありますよつや苑という老人養護施設の方が参加する、車いすで参加するプログラムも組み込んでおまして、その方々の演技の様子も見せていただきました。地域に根差した運動会づくりという姿勢が見られたと思います。

門の外で喫煙をなさる方が、学校の敷地内ではさすがに吸う方はいらっしやらないのですけれども、門のすぐ外で吸っていた、少なからぬ方々が喫煙をしていらっしやって、喫煙がどうのこうのということではなくして、喫煙の方がいらっしやるならばその場所をむしろどこかにつくってあげたほうがいいのかななどと思いつつ見てまいりました。

6月17日ですけれども、私も「ボールふれあいフェスタ」に出席させていただきました。先ほどからお話がありますように、府中を本拠地とする球技のチームの選手の方々子どもたちとの触れ合いの活動ということで、とてもにぎやかでした。子どもたちもとても楽しそうで、選手たち自身も楽しそうにして相手をしてきているという様子が非常に印象的で、おもしろい会だなと思えました。

その帰り道なのですけれども、私も郷土の森博物館のあじさいまつりを特に見て回りました。園内至るところにまことに見事に咲きそろったあじさい、とても美しかったと思います。来園

者の方も多くて、あちこちであじさいの花をカメラにおさめているという姿がたくさん見られました。府中にはすばらしい財産があるなど改めて思った次第です。

それから6月17日の午後ですけれども、府中市美術館のほうを参観させていただきました。「イメージの叫び パワー・オブ・創作木版画」ということで、第1章から第5章までという5つの章立て、ガラスのケースに入れないで生の展示ということでの鑑賞スタイルを演出してくださっていました。おもしろいなと思いました。作品保護のためにマスクをして鑑賞ということだったわけですけれども、作品の間近まで目を寄せてインクのにじみぐあいなども見られるほど接近をして、仕上がっている作品を鑑賞することができて、作品のパワーというようなものも伝わってくる、そんな感じでした。大胆で効果的な展示だったと思います。以上です。

○委員長（久芳美恵子君） それでは久芳より3点ご報告いたします。ほとんどが皆様ご報告なさったことばかりでございますので、感想を中心にいたします。

5月17日、教育委員会のあった日の夕方でございます。P連の歓送迎会、私も参加いたしました。まことに保護者の方、若いパワーがものすごくて、年々私も年齢が高くなりますので、それを感じる度合いが非常に強くなってまいりました。府中はPTAの皆さんが学校を支えてくださっているという印象を本当に強くいたしました。

5月29日の土曜日、運動会に参りましたが、矢崎小、日新小、本宿小と私の家を中心としまして三角形を自転車で回りましたが、よいお天気だったのでよかったです、最初に矢崎小に参りました。1年生は入りたてでまだ2カ月たっているか、いないかということなので、もう走っても、歩いてもかわいいという周りから参加の方々の声が上がっていて、このような感想が出るのはこういう時期だけだなと思いました。

次に日新小でございます。日新小は2年生の大玉送りに保護者の方が一緒に参加なさっていたりして、ちょっと珍しいのではないですかと申し上げましたら、校長先生が小規模校のなごりなのでよとお話くださいました。もう1つ、小規模校のなごりとして、全校遠足があるということで、1年生から6年生まで同じ場所に行く、なかなか人数が多くなるとできないけれども、こういうのも子どもたち、年齢を超えた交流となっていかなという印象を持ちました。

それとどの小学校でも高齢者の方々の見学が多かったのですが、日新小は特に多かったように思います。もしかしたら先ほどの四谷小と似た形で、日新小近くの高齢者施設のほうからお出でになっていらっしゃる方々がいらっしゃるかな。ある種目が終わったら皆さん一緒に行きましょうという声がかかって、5～6人の方がぞろぞろとお立ちになった。そんな印象を持ったわけですが、高齢者の方も子どもたちの活躍する姿を見て、やはりうれしかったのではないかなと思いました。

そして午後に本宿小に参りました。本宿小は近隣にかなり大きなマンションが建って、子どもたちの人数がとても増えたという点です。校庭が本当に狭いような印象を受けましたが、ここでは6年生の組体操が印象に残りました。安全等々で組体操がやられなくなる中、本宿小ではずっと続けているということでした。この最後が男の子と女の子で1組ずつ、全員がかかって7段の塔が1つずつ、男の子が1つ、女の子が1つ、もう全員がかかってやるものですから、非常に壮大でございました。補助する先生方がとても機敏に動いていらして、こういう形

で援助していくと、組体操もやれるのかなと思いました。仕上げた後の拍手をもらって、おそらく6年生全体1人1人が本当に達成感を持てたのではないかなという印象でございました。

6月17日日曜日、郷土の森総合体育館での「ボールふれあいフェスタ」でございます。開会式の途中からだったと思うのですが、第二会場、サッカーの会場に幼い幼児連れの保護者の方がずらっと並んでいたようです。開会式が終わって私が出ましたときにはもうすごく長い列でしたが、ここではサッカーのボールをけったりすることと同時に、平山相太選手が来ていて、子どもたちがファイルなどお土産にいただいたものを早速持って行って、サインをしてもらっている光景を見ました。

また、体育館ではバレーボールやバスケットボールがやられていて、非常に印象に残ったのは、背の高いバレーボール選手と小学校の高学年ぐらいの男の子が、バレーボールを1対1でラリーをずっと続けているのです。こういう姿を見まして、本当に一流の選手と触れ合ったこういう子どもたちの中から、さらにスポーツを愛して自分も選手となるという子が府中から出てほしいなという、そんな印象を抱きました。以上でございます。

それでは、これもちまして平成24年第6回府中市教育委員会定例会を閉会といたします。どうもご協力ありがとうございました。



午後3時19分閉会